

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	生物環境化学特別講義 I						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	4年次前期		
必修・選択の別	【バイオサイエンスコース:選択科目】【食品生物資源コース:選択科目】【エネルギー・環境コース:選択科目】						
担当者	岡本 俊						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・水質関係の公害・環境に関する概念および法令を理解する。 ・汚水処理技術・測定技術の基本的知識を習得する。 ・公害防止管理者水質関係第1～4種の国家試験レベルの問題を解答できる能力をめざす。 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法について説明 第2回：公害総論（環境基本法、公害防止管理者法、最近の環境問題、国際環境協力等） 第3回：水質概論(1)（水質関連法規制、水質汚濁の歴史と現状、水質汚濁の発生源） 第4回：水質概論(2)（水質汚濁の機構、水質汚濁の影響、国または地方公共団体の施策） 第5回：公害総論・水質概論まとめ 第6回：汚水処理技術特論(1)（汚水処理技術の概要、物理・化学的処理法①） 第7回：汚水処理技術特論(2)（物理・化学的処理法②、生物処理法、汚水等処理装置の管理） 第8回：汚水処理技術特論(3)（水質関係測定技術①） 第9回：汚水処理技術特論(4)（水質関係測定技術②） 第10回：汚水処理技術特論まとめ 第11回：水質有害物質特論(1)（有害物質の性質と処理） 第12回：水質有害物質特論(2)（有害物質の測定技術） 第13回：大規模水質特論（大規模な排水の拡散と水質予測、処理水の再利用、大規模設備の水質汚濁防止対策事例） 第14回：水質有害物質特論・大規模水質特論まとめ 第15回：全体のまとめ 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験	50%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・水質関係の公害・環境に関する概念および法令を理解する。：達成した ・汚水処理技術・測定技術の基本的知識を習得する。：達成した ・公害防止管理者水質関係第1～4種の国家試験レベルの問題を解答できる能力をめざす。：達成した 						
反省点	昨年度は、定期試験・臨時試験結果について、各問題ごとの正答率を集計し、理解度の低い問題を明確にした。今年度は、この結果を基に、理解度の低かったところを重点的に講義を行った。その結果、受講者全体の理解度をさらに向上することができた。しかし、全体的に計算問題の理解度が低い。						
来年度の計画	計算能力の向上を重点的に行う。						
授業評価アンケートに対するコメント	全体として評価は平均点よりも高く、概ね良好と思われる。個別で見ると評価の低い学生もおり、今後さらにわかりやすい資料の作成、わかりやすい説明をこころがける必要がある。						
履修登録者数	20名	定期試験 受験者数	20名	合格者数	20名	合格率	100%